

 新アカデミー合唱団
New Academy Chorus

コンサート 7

2024年 10月13日  開場 14時30分
開演 15時00分

札幌コンサートホール *Kitara* 大ホール

ごあいさつ

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございます。私ども新アカデミー合唱団は、新型コロナウイルス感染拡大のため2年間活動を休止しました。

そのため団員も減少し、なかなか演奏会を実施することも厳しい状況でしたが2022年に再出発し同年の「新アカデミー合唱団コンサート5」では、ヴィヴァルディ作曲「GLORIA」を皆様におとけしました。昨年「コンサート6」では、モーツァルト作曲「証聖者の荘厳晩課」を素晴らしいソリストと管弦楽団を迎えての演奏でお楽しみいただきました。

今年は、前半にハイドン作曲「天地創造ミサ」を管弦楽と一緒に演奏します。ハイドンのオラトリオ「天地創造」はよく演奏されますが、本日演奏する「天地創造ミサ」は演奏される回数は少ないのですが、素晴らしい名曲です。

後半は、千原英喜作曲「組曲「みやこわすれ」」とジョン・ラターの小品集をお届けします。ラターの小品集はオーケストラと一緒に演奏しますが、オーケストラパート譜を日本国内で入手することができず、今回は英国からのレンタル譜を使用して演奏いたします。オーケストラ伴奏による演奏は、国内では極めて珍しいといえるのかもしれませんが。どうぞ、お楽しみください。

色づき始めた木々に包まれた中島公園の素敵な時間を、私どもの合唱曲とともにお過ごしください。皆様のご来場に心から感謝申し上げます。

新アカデミー合唱団
団員一同



2023.5.14 コンサート6 Kitarata 大ホール

Program

指揮 鎌倉 亮太

I ハイドン天地創造ミサHob.XXII:13 (約40分)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| i. Kyrie | ソプラノ 前田 奈央子 |
| ii. Gloria | アルト 松田 久美 |
| iii. Credo | テノール 三山 博司 |
| iv. Sanctus | バリトン 下司 貴大 |
| v. Benedictus | オルガン 鹿野 真利江 |
| vi. Agnus Dei | 管弦楽：新アカデミー合唱団のための管弦楽団 |

~~~~ 休憩 (20分) ~~~~

## II 千原英喜混声合唱とピアノのための組曲「みやこわすれ」(約15分)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 薔薇のかおりのタぐれ | ピアノ 鹿野 真利江 |
| 2. はっか草       |            |
| 3. すみれ        |            |
| 4. みやこわすれ     |            |

## III ジョン・ラター小品集(約20分)

管弦楽：新アカデミー合唱団のための管弦楽団

- |                                    |             |
|------------------------------------|-------------|
| 1. All things bright and beautiful | 電子楽器 鹿野 真利江 |
| 2. For the beauty of the earth     |             |
| 3. I will sing with the spirit     |             |
| 4. Look at the world               |             |

# Program Note I

## I ハイドン

### 『天地創造ミサ 変ロ長調』Hob.XXII:13

18世紀。王侯や貴族などの支配下で、音楽は自らの階級や身分を越える手段として極めて有効だった。フランツ・ヨーゼフ・ハイドン(1732-1809)は平民の出身(父は車大工、母は料理人)ながら幼い頃より音楽の才能を認められ、自らの人生を切り開くのに大変な苦勞を重ねたものの、1761年、29歳の時にエステルハージ家の副楽長(後に楽長)となって以降、半世紀近くにわたって貴族社会のただ中で仕事をし続けた。その晩年、当主ニコラウス2世の時代の主な楽曲が、オラトリオ『天地創造』(初演1798)『四季』(初演1801)と、後期六大ミサ曲であり、これらのミサ曲は王妃マリア・テレジアの命名日(9月15日)を寿ぐために作曲されたものである。

本日演奏される『天地創造ミサ』(1801)はその後期六大ミサ曲の第5番目にあたる。今日では余り演奏される機会はないようだが、それでもハイドンの研究者であるH. C. ロビンズ・ランドンは、「多くの人々がこれをハイドンのこのジャンルにおける最高の業績と考えている」と述べている。またハイドンの同時代人であり、ライプツィヒのトーマス教会の後継者の一人である作曲家ヨハン・アダム・ヒラーは、このミサの楽譜に「非常に偉大なる人、J.ハイドンの最高の作品」とも記している。Kyrie-Gloria-Credo-Sanctus/Benedictus-Agnus Deiと通例のミサ曲と同様の構成であるが、宗教的というよりも、華やかな宮廷的な響きが強い。通称の『天地創造』はオラトリオ『天地創造』の第32曲「優しき妻よ、お前の傍らにあれば」でアダムとエヴァが新しく創造された世界の喜びを歌う二重唱のメロディーを、グロリアの中盤「Qui tollis peccata mundi」(世の罪を除きたもう主よ)の箇所にかけているところからきている。ハイドンが侯爵夫妻をアダムとエヴァに見立てたのか、侯爵をキリストになぞらえたのか、その意図は不明であるが、ミサ曲の通例であれば厳粛に歌われるべきところを明朗に歌い上げ、しかしその直後の「Miserere nobis」(私たちにあわれんでください)では急激に緩急、強弱、調性が変化する。そのような鮮やかで劇的な変化は随所に聴くことができ、当時の宮廷人たちを大いに驚かせ、楽しませた、その意味でハイドンは当時の美学で優れた気質のひとつとされていたユーモアを持ち合わせた、なかなかのエンターティナーだった。ただしこの曲が捧げられた当人である王妃は、その世俗性が気に入らなかったようである。

しかし18世紀。産業革命が進み、市民革命が起こり、社会の中心は王侯貴族から経済力を備えた市民へと移る激動の時代である。私たちはもちろんもはや王侯貴族ではないが、およそ200年を経て演奏されるハイドンの宮廷的な響きは現在の私たちにどのような聴こえるであろうか。

## Program Note II

### II 千原英喜

#### 混声合唱とピアノのための組曲『みやこわすれ』（詩：野呂昶）

詩人で、絵本や児童文学なども執筆している野呂昶（のろ・さかん）の花をモチーフにした詩に千原英喜が曲をつけた繊細で切ない思いのこもった合唱曲集。

#### 「薔薇のかおりの夕ぐれ」

薔薇のかおりの夕暮れ、いとしい人の面影、みんなシルエットになって通り過ぎていく。  
薔薇のかおりの夕暮れ、街をやすらぎがつつみ、心はほのかに明るく、空にただよい。

#### 「はっか草」

つゆ空にうかぶうす緑のちいさな茂み、その中から煙るように小さな花がいくつも咲いた。  
「これははっか草の花」、幼い日母はその薔みを手折って私に言った。  
「はっか草のような人になりなさい」と。  
顔を近づけると、どの花でもない清らかな香りがした。心が引き込まれる不思議な香りだった。  
あれから幾十年私はひたすら生きて、母はもうとっくにこの世を去った。  
「はっか草のような人になりなさい」。  
私はついにそのような人にはなれなかったが、その声だけは今も私の中で気高く香っている。

#### 「すみれ」

雑木林の木漏れ日の下で、すみれが咲いている。あちらにひとむれ、こちらにひとむれ、  
耳を澄ますと、かすかなざわめき。時々笑い声も、そよ風のように、わき水の音のように、  
こんな小さな花のざわめきが、空を染めてゆく。次第に広く、すみれ色に…

#### 「みやこわすれ」

夕もやの向こう、薄紫の花が浮かんでいる。私は手をのばす。  
どんなに手をのばしても届かない、みやこわすれ、その姿のなんというすずやかさ。  
遠いあの日、ただただ切なく、苦しく、風の揺らぎにも震え、ときめいていたこと。

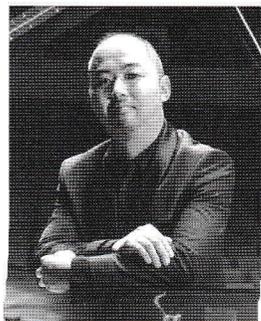
### III ジョン・ラター小品集

ジョン・ミルフォード・ラター（John Milford Rutter, 1945-）は過去半世紀で最も人気があり成功した合唱作曲家の一人である。ラターは2019年にバチカンの教皇庁文化評議会主催の宗教音楽に関する会議に招待され講演を行い、作曲家にとって重要なのはメロディーの才能を持っていることだと語っている。20世紀、次第に高級芸術と大衆芸術は分岐し始め、多くの偉大な作曲家は、メロディーに代えて音楽の他の側面、つまり響き、テクスチャー、構造、リズムなどを探求し、発展させていった。彼らは刺激的な新しい音の世界を切り開き、メロディーはミュージカル、映画音楽、ポップミュージックの世界へ活路を見出していった。だがメロディーはテキストのメッセージを聴き手の心に届ける非常に優れた方法なのであり、現代音楽にとってもなお貴重なコミュニケーションの手段なのである。ラターは良質な音楽を通じて人々が繋がりを切に願っているのである。この講演の最後は、次の言葉で締めくくられている。

「教義があるところには常に意見の相違があります。音楽があるところには調和があります。」（where there is doctrine, there will always be disagreement. Where there is music, there is harmony.）  
本日の演奏会でのラターの美しいメロディーが、皆さんと心通わせる一助となりますように。

（文責 テノール北村清彦）

# Profile



## 指揮：鎌倉 亮太

北海道教育大学大学院修士課程修了。フィンランド国立シベリウス音楽院へ留学。2006年札幌市民芸術祭大賞、2013年NHK旭川放送局賞、三浦洋一賞、2019年道銀芸術文化奨励賞を受賞。2023年札幌文化奨励賞を受賞。ピアニスト、指揮者として活動の幅を広げ、ピアノ協奏曲の弾き振り、オペラコレペティトウアなど活動は多岐に渡る。

2022年5月には、道銀ライラックコンサートにて、札幌交響楽団とラヴェル作曲ピアノ協奏曲を共演。指揮者としては、北海道二期会、kitara主催オペラ等で指揮を務め、PMF2019プレミアムコンサートにおいてC・エッセンバッハ指揮の下、マーラー作曲交響曲第8番「千人の交響曲」の合唱指揮を務めた。現在、札幌大谷大学芸術学部音楽学科准教授。



## ピアノ：鹿野 真利江

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コースを首席で卒業。同大学院修士課程修了。第8回、第9回横浜国際音楽コンクール、審査員特別賞。リスト音楽院セミナーにて優秀受講生による受講生コンサートに出演。札幌市民芸術祭新人音楽会等、ソロやアンサンブルで多数の演奏会に出演。オペラや合唱のピアニストとしても幅広く活動している。

現在、ヤマハミュージックスクールシステム講師。栗沢認定こども園リトミック講師。新アカデミー合唱団ピアニスト。



## ソプラノ：前田 奈央子

札幌大谷高等学校音楽コース卒業。札幌大谷短期大学音楽科声楽コース卒業。同専攻科修了。東京二期会オペラ研修所マスタークラス修了。修了時優秀賞受賞。第19回ハイメスコンクール声楽部門第一位。これまでに数多くのオペラ、コンサート等に出演。2024年11月北海道二期会創立60周年記念公演喜歌劇『こうもり』アデーレ役にて出演予定。



## メソ・ソプラノ：松田 久美

札幌大谷短期大学音楽科声楽コース卒業。同短大専攻科、研究生Ⅱ修了。札幌市民芸術祭新人音楽会出演。第4回東京国際声楽コンクール奨励賞受賞。2013年3月よりドイツケルンにてオペラ歌手尾知真知子氏のもとで研鑽を積む。第九、宗教曲ソリストなど、数多くのオペラ、演奏会に出演。大谷高校音楽同窓会「ペオニア」、北海道フーコー・ヴォルフ協会、札幌室内歌劇場各会員。



## テノール：三山 博司

東京藝術大学大学院修士課程修了。博士後期課程満期退学。これまでに受難曲のエヴァンゲリストや、オラトリオおよび「第九」のテノールソロを数多く務める。オペラではマサネ「ウェルテル」のタイトルロールをはじめ、多くのフランス・オペラ、オペレッタに出演している。

現在、札幌大谷大学芸術学部音楽学科教授、札幌合唱連盟副理事長。



## バリトン：下司 貴大

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業、同大学院修士課程修了。札幌市民芸術祭大賞、道銀文化財団奨励賞などタイトルを多数獲得。PMF2010では巨匠F・ルイジ指揮ブッチーニクラ・ボエームにマルチェロ役で出演。2014年に渡伊し、ローマ歌劇場のロッシーニ<セヴィリアの理髪師>のフィガロ役でデビュー。

現在、光塩学園女子短期大学保育科専任講師。

◆◆◆◆◆ Members ◆◆◆◆◆

新アカデミー合唱団

|           |                                         |                         |                      |                        |               |                |
|-----------|-----------------------------------------|-------------------------|----------------------|------------------------|---------------|----------------|
| ソプラノ      | 東 俊子<br>尾山亜紀子<br>二階堂ひさえ                 | 安齊久美子<br>笠島友美子<br>西村ナホ子 | 飯田美穂<br>菅野鈴子<br>福田聡子 | 伊藤美智子<br>小石直美子<br>若林郁子 | 岡崎理子<br>齋藤由紀子 | 小原則子<br>長よし恵   |
| アルト       | 飯塚美西<br>田中笙子<br>水口裕子                    | 池田静子<br>南部紀子<br>森眞理子    | 岡本明子<br>橋本裕子<br>山谷恵子 | 小林千尋<br>長谷川真理子         | 佐藤怜子<br>林雪子   | 高浜真理子<br>廣澤紀美子 |
| テノール      | 池端正道<br>佐久間和良<br>矢島克美                   | 石垣昭典<br>佐々木真也<br>山口忠夫   | 今堀新<br>笹岡憲泰          | 金谷隆<br>管井聖二            | 北村清彦<br>開本英幸  | 細木正知<br>宮路真人   |
| バス        | 赤石尚一<br>中川敬雅                            | 鎌倉清次<br>中村浩             | 駒澤寛<br>名古屋英男         | 齋藤豊<br>松田典彦            | 下坂登<br>渡辺直己   | 田中誠            |
| ヴォイストレーナー | 高橋 雅子 (ソプラノ・テノール) 東 園己 (アルト) 下司 貴大 (バス) |                         |                      |                        |               |                |

管弦楽；新アカデミー合唱団のための管弦楽団

コンサートミストレス 山本 泰子

|          |                |       |         |       |       |
|----------|----------------|-------|---------|-------|-------|
| 第1ヴァイオリン | 山本 泰子<br>太田 愛理 | 鈴木 京  | フルート    | 佐藤 由渚 | 水本 綾音 |
| 第2ヴァイオリン | 齋藤 亜紀<br>古口 絵里 | 舟橋 潤子 | オーボエ    | 阿部 泰幸 | 秋本 野杏 |
| ヴィオラ     | 前 南            | 今井 佑佳 | クラリネット  | 河野 清彩 | 森野 守屋 |
| チェロ      | 坪田 亮           | 中島 杏子 | ファゴット   | 清水 大暉 | 岡島 船場 |
| コントラバス   | 小笠原いづみ         |       | ホルン     | 岩井 綺羅 |       |
|          |                |       | トランペット  | 本間 寺田 |       |
|          |                |       | パーカッション | 寺田 怜平 |       |

お盆にモーツァルト「レクイエム」を歌いませんか！

新アカデミー合唱団 コンサート8

2025年8月16日 (土) 開演：15時00分

札幌コンサートホールKitara 大ホール

入場料 2,000円 (全席自由)

指揮：鎌倉 亮太 管弦楽：レクイエム管弦楽団

ソプラノ：倉岡陽都美 アルト：松田 久美

テノール：荏原 孝弥 バス：粟野 伶惟

<臨時団員20名を募集します> 募集は2025年3月31日まで

- ① これまでにモーツァルト「レクイエム」を歌ったことのある方。
- ② 楽譜は、ベーレンライター版を各自で用意。
- ③ 参加者負担額は、チケット5枚 (2,000円×5枚)。
- ④ 練習は、毎週水曜日 5月以降15回程度。練習に6割以上参加。8月14日、15日にゲネプロ予定。

↓申込みフォーム



申込み先：合唱団事務局 下坂 登 090-8276-9383

E-mail: nac.shimo3-2016@dream.com

## About New Academy Chorus

2016年1月、札幌アカデミー合唱団の解散により、同合唱団の組織・団員を母体として、鎌倉亮太氏を正指揮者に迎えて発足。同年6月、第69回コーラス・フェスティバルにてデビュー。同年7月、「新アカデミー合唱団コンサート1」を札幌教育文化会館大ホールにて開催。ロッシーニの「小荘厳ミサ曲」、オペラ合唱曲を演奏。2017年6月の「コンサート2」はKjtara大ホールで開催し、フォーレの「レクイエム」と団員演出によるミュージカルナンバーを演奏した。2018年5月の「コンサート3」もKjtara大ホールで開催。グノーの「聖チェチーリアのための荘厳ミサ曲」と英仏伊の歌を、2019年5月の「コンサート4」ではブルックナーの「テ・デウム」とオペレッタの合唱曲を演奏。その後コロナ拡大のため演奏会を実施出来ず2022年5月開催の「コンサート5」では、ヴィヴァルディ「グローリア」、信長貴富「1971年生まれのポップスソング」、源田俊一郎編曲「ふるさとの四季」を演奏した。続く2023年5月「コンサート6」では、モーツァルト「証聖者の荘厳晩課」、信長貴富「ヴィヴァルデイが見た日本の四季」を演奏した。宗教曲・オペラ・ミュージカルなどの曲を得意としている。

また、他団体主催行事への賛助出演等も多く、2017年2月に北海道教育大学岩見沢校の学生・OB・OGによる「Young Hokkaido Pfillhamony」(F・キーレン指揮)が主催する3回のベートーヴェン「第9」公演に出演し、同年10月には太平洋フェリーで洋上コンサートを開催、同年11月には御法川雄矢指揮の俊友会「第9演奏会」へ賛助出演した。2019年7月にはC・エッセンバッハ指揮(合唱指揮:鎌倉亮太)のPMFプレミアムコンサート・マーラー「千人の交響曲」、同年9月には山下一史指揮、札幌交響楽団の信時潔「海道東征コンサート」に出演している。

さらに、北海道二期会主催の「カヴァレリアルスティカーナ(2016.12)」「不思議の国のアリス(2017.11)」「椿姫(2019.3)」「道化師(2019.11)」、hitaruOperaプロジェクト公演「蝶々夫人(2021.3)」、LCアルモーニカ主催「ラ・ボエーム(2016.12)」「ホフマン物語(2018.8)」「アドリアナ・ルクヴルール(2022.1)」、オペラファクトリー北海道主催「Pagliacci(2019.6、2020.1)」、札幌市教育文化会館主催「歌劇ノンノ(2021.8)」、北大交響楽団100周年記念「第9演奏会(2022.12)」、Japan Festival Orchestra札幌演奏会「マーラー/復活(2024.3)」、札幌交響楽団第664回定期演奏会「ブルックナー/テ・デウム(2024.10)」にも多くの団員が出演するなど積極的に活動している。

ゆきまさ

### 中川敬雅税理士事務所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西16丁目1番地  
第一ビル6F  
TEL 011-688-8285 FAX 011-688-8286

### 西光グループ

みなさまの生活を支えます

訪問介護せいかケアサービス  
グループホームみやこ  
グループホームみやこ東山館  
グループホームみやこ緑が丘館  
小規模多機能型居宅介護むすぶ  
鍼灸整骨院エスポアル  
(開業準備中)  
就労継続支援B型事業所わいわいG

本社 〒062-0911 札幌市豊平区旭町2丁目1-15-1003  
TEL 011-811-7300 FAX 011-811-7722

